

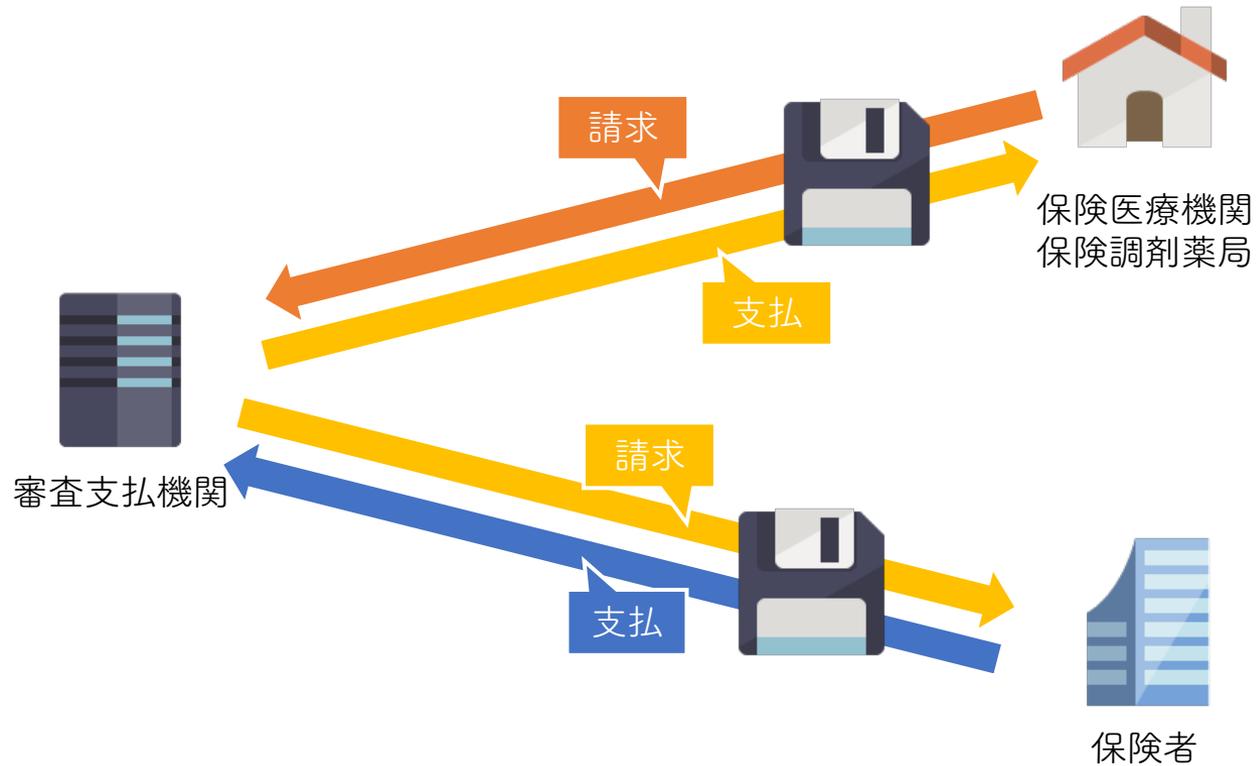


1 - 2 電子レセプトの概要

産業医科大学 医学部 公衆衛生学

村松 圭司

電子レセプトとは



レセプトの種類



医科レセプトの構造（一次請求）



医科レセプト請求データに含まれる情報

- 医療機関に関する情報(IR)
- レセプト共通レコード(RE)
- レセプト情報
 - 保険者(HO)・公費(KO)など
- 傷病名レコード(SY)
- 摘要情報・・・診療の詳細
 - 診療行為(SI)・医薬品(IY)・特定機材(TO)・コメント (CO)・日計表(NI)※平成24年3月以降は作成しない
- 症状詳記レコード(SJ)

※臓器提供があった場合、ドナーのレセプト情報が以下に続く

レセプトデータを研究利用する際の課題

- ヘッダ情報
 - どこまでがだれのレセプトなのかを識別する情報が含まれていない
- 同一人物の特定
 - 保険証番号は1被保険者あたり1つ
 - 被扶養者（家族）も同じ番号
 - 個人を特定するためのマッチング技術が必要
 - 例；性別・生年月日等を含める
 - 医療機関によって違う値が入力されていることも多い
- レセプト電算コードマスターの管理
 - 保険収載されている医療行為や医薬品、特定機材などの情報を標準化したもの
 - 医薬品はブランドごとに別々のレセプト電算コードが付与されている
 - ジェネリックがある薬剤を使用有無を調査する場合は全てのレセプト電算コードをピックアップする必要はある
 - ブランドごと、先発／後発の比較が可能
 - 特定機材はいわゆる「一般名」での記載

レセプト電算コードマスター

- 厚生労働省が運営するウェブサイトからダウンロード可能
 - 更新頻度
 - 診療報酬改定が行われたとき（2年おき）
 - 新たに保険収載が行われたとき（1月に複数回あるときもある）
 - マスター管理に大変な労力を要する
 - <http://goo.gl/QZX33>
 - コツ；診療報酬改定が終わった直後に過去2年分のレセプト分析に使用するマスターをダウンロードする

今回のまとめ

- レセプトの分析をするためには、レセプトの構造を理解する必要がある
- レセプトは行ごとに異なるデータが含まれている
- レセプトはどこまでが一人分のデータか分かりにくい
- レセプトには詳細な医療行為や医薬品、特定機材の情報が含まれているが、それらはレセプト電算コードで管理されている
- レセプト電算コードは診療報酬改定（2年に1回）のたびに変わる可能性がある